

九州キリスト教社会福祉事業団 事業団だより

(発行)

社会福祉法人
九州キリスト教
社会福祉事業団
〒871-0162
大分県中津市永添2744
「いずみの園」内
電話 (0979) 23-1616(代)
E-mail:
sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

キリスト教の愛と奉仕の実践を

社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団

理事長 富永健司



昨年11月、多田一三先生の後を受け、社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団の理事長に就任しました。前理事長はじめこれまでの諸先輩の築いてこられた法人の伝統と実績を引き継ぎ、微力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は1996年いずみの園事務長に就任する前は、広島・清鈴園の施設長を務めておりました。佐世保比良町教会出身(幼児洗礼、信仰告白)で現在、中津教会の会員です。

いずみの園は今年4月で設立34年を迎えました。多くの九州教区の皆様を支えられて今日まで歩んで参りました。設立時、特別養護老人ホームの入所者50名、職員26名で小さくスタートいたしました。その後、ケアハウス(聖愛ホーム)、グループホーム、有料老人ホーム(いずみの森)などの入居施設、デイサービスやホームヘルパーなどの在宅サービス、そしてクリニック、リハビリなどの医療サービスの充実を図り、現在では職員も342名に増えました。

事業団はグレース保育園など三



信望愛

いずみの園 since1978

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大きいなるものは愛である。

コリントの信徒への手紙 I 13:13

いずみの園の サービス・コンセプト (私たちの取り組み)

- ① アメニティ(快適主義)
快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービスを提供します。
- ② ヒューマニティ(人間主義)
心と体の自由を尊重一人ひとりの尊厳性を大切にされたサービスの提供を行います。
- ③ ローカルティ(地域主義)
地域と共に歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たします。

つの保育園を運営し、また昨年、別府にあります社会福祉法人栄光園(乳児院、児童養護事業、2保育園・初代理事長野町良夫牧師)もグループに入りましたので、2法人あわせて職員数500名を超える一大キリスト教事業団となりました。今後とも、キリスト教の愛と奉仕の実践を基本理念として、福祉サービスを必要とする方々にホスピタリティ(もてなし)の心で地域福祉に貢献して参ります。

いずみの園では今年度「新5か年プラン」を策定し、障がい事業の検討にも着手しました。障がいをお持ちの方も元気で明るく地域で暮らしていけるように、グループホーム、多機能型就労継続支援

事業などを研究しています。赤ちゃんも子どもも、母子家庭も障がいのある方も、そしてお年寄りも平等に元気に平和に暮らせるまちづくりを、と願っています。当事業団へのご支援・ご協力について、今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。



2012年度いずみの園基本方針

生涯安心・いずみの園「新5か年プラン」

－基本理念「キリスト教の愛と奉仕の実践」
－モットー「信・望・愛」

本年4月、国の第5期介護保険事業計画がスタートする。団塊の世代が後期高齢者に入る2025年までに、中学校区を単位に「住まい、予防、介護、医療、生活支援サービス」を包括的継続的に提供する「地域包括ケアシステム」を完成させるといふ。一方で、政府は財政基盤確保のため「社会保障と税の一体的改革」の議論を本格的に進めている。年金、医療、介護の社会保障制度の転換期を迎え、また社会福祉法人の見直しが行われる中で、いずみの園は社会福祉法人としての公益性、独自性、先駆性を堅持し、これからの10年を展望しつつ「新5か年プラン」を策定する。

1. 新5か年プラン

①「中津総合ケアセンターいずみの園」構想

国がすすめる地域包括ケアシステムを推進し、高齢者、障がい者、児童、母子、貧困など地域の福祉ニーズ全般に対応できる総合ケアセンターを目指す。

- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・24時間対応サービスの充実
- ・事業の多角化、総合化を図る
- ・行政・地域との連携の強化
- ・地域コミュニティの拠点化

②「障がい事業」の開発 ・多機能型就労支援事業A.B型（ワークセンター）

- ・グループホーム
- ・道の駅型販売店

③共生型「かぎざサポートセンター」事業の推進

- ・高齢者・障がい事業、児童クラブ
- ・地域交流スペース、障がい事業所（分場）
- ・日中一時支援事業
- ・小規模特養の研究

④新規事業の開発

- ・中央サポートセンター開設
- ・デイサービスセンター北堀川開設
- ・低所得者対策の研究
- ・今津サポートセンターの調査、研究

⑤事業団組織・機構改革

- ・法人本部機能の強化
- ・（社福）栄光園との連携の強化

- ・EFC（栄光園ファミリークラブ）の推進
- ・5保育所の連絡協議会
- ・いずみの園の機構改革
- ・各事業部門の自律的経営
- ・（中間）管理職の育成
- ・いずみの園新人事考課制度の試行

⑥サービスの質の確保

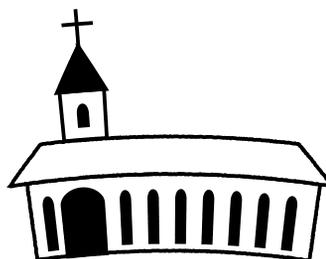
- ・科学的介護「ISO9001」の推進
- ・サービスコンセプトの推進
 - ①アメニティ（快適主義－快適なサービス、マナー）
 - ②ヒューマニティ（人間主義－人としての尊厳性を守る）
 - ③ローカリティ（地域主義－地域密着型事業）
- ・ホスピタリティ「もてなしの心」－良きサマリア人（聖書）
- ・感動を呼ぶサービス、スピリチュアルケア（心に触れるケア）

⑦ワークライフバランス

- ・働き甲斐のある職場づくり
- ・事業所内保育施設「マリアガーデン」の設置
- ・リフレッシュ休暇（5連休）、年休消化の推進

2. 本年度の重点課題

- ①地域包括ケアシステムの推進
- ②デイサービスセンター北堀川の事業開始（4月）
中央サポートセンターの事業開始（6月）
- ③障がい事業の研究、開発
 - ・ワークセンターの設置
 - ・グループホーム（6人定員）補助金申請
- ④（社福）栄光園との連携
- ⑤ワークライフバランスの推進



献金のお礼とお願い

今年度も当事業団の働きのために多額の尊いご献金を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、昨今の福祉を取りまく環境は厳しい状況にありますが、いずみの園や各保育園の諸事業の働きは、全て順調に推移しております。これもひとえに、常日頃ご支援いただいております皆様のお陰と、関係者一同心より感謝しております。

このたび、いずみの園では職員の子育てを支援するための事業所内保育施設「マリアガーデン」が完成し、4月より開園いたしました。建物は木の温もりを感じる事ができ、また、敷地内にあるので職員は休憩時間に顔を見に行くこともできます。

今後とも、皆様の絶大なるご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

二〇一二年四月

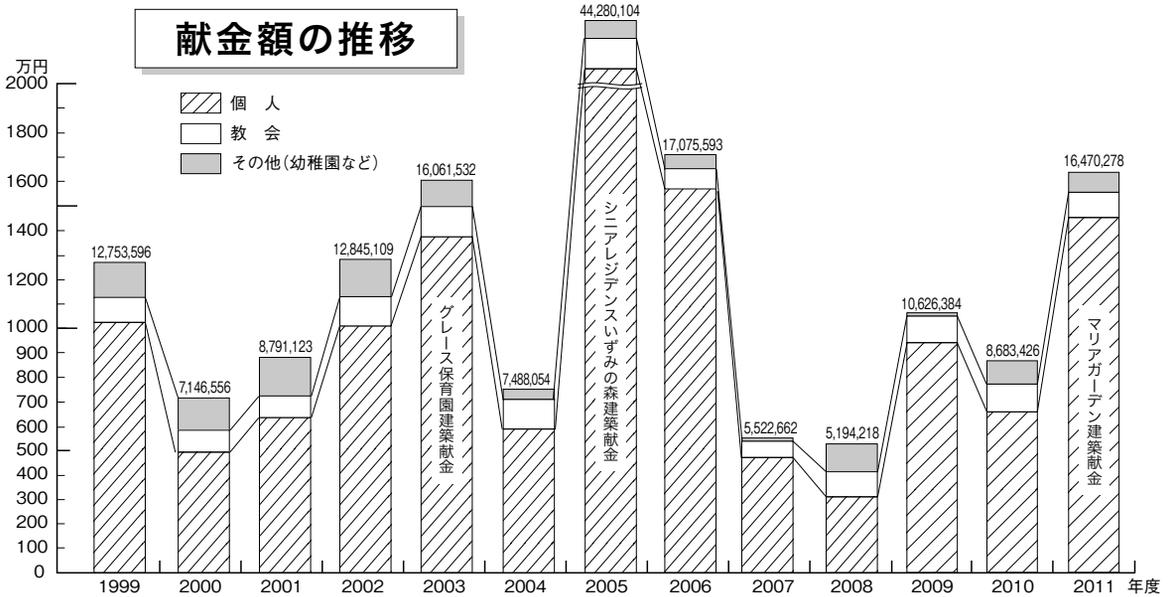
理事長 富永 健司

献金額の推移

単位：円

1999年度	12,753,596
2000年度	7,146,556
2001年度	8,791,123
2002年度	12,845,109
2003年度	16,061,532
2004年度	7,488,054
2005年度	44,280,104
2006年度	17,075,593
2007年度	5,522,662
2008年度	5,194,218
2009年度	10,626,384
2010年度	8,683,426
2011年度	16,470,278

献金額の推移



マリアガーデン開園

2012年4月1日より、かねてからの念願であった事業所内保育施設「マリアガーデン」を敷地内に開園しました。



4月1日で34名の職員が在籍し、多くの子育て世代の職員がおり、その「パパママ職員」が、安心して子どもを預けられ、今まで以上に一生懸命働いてもらえるようにという思いで保育施設を作りました。玄関にはステンドグラス、広くて天井が高い保育室と、まろい窓の乳児室、小さくてかわいらしいトイレなど、見ているだけでも楽しい建物です。元気な子どもたちが、無邪気に遊ぶ姿を想像すると、思わず笑顔になってきます。



(内部のステンドグラス)

庭には開園を記念して桜の苗木を植えました。この桜が大きくなるとともに、子どもたちも大きく健やかに育つてくれればと願っています。

ケアマンション 聖愛ホーム

ホーム長 堤 健生



この度4月より16年間ホーム長を務められた袖淵三枝子ホーム長の後任としてホーム長に就任致しました堤 健生と申します。当ホームは施設の開設以来今日に至るまで、キリスト教の理念によつて運営がなされて参りました。

地域や教会関係の方々をはじめ多くの方々のお支えと祈りによつて歩んで参りました。

これからもすえられた土台をしっかりと受け継いで参りたいと思つています。現在は60歳台の方から98歳の方まで50名の方々が入居し生活をなさつています。

お一人おひとりにとつて、今という時をかけがえない時として生活されるように職員一同心をひとつにして参ります。新たな船出の年として歩みます。

今後ともお祈りにお覚え下さいますように、又皆様方のうえに神よりの祝福をお祈り申し上げます。

めぐみ保育園 (大分東教会)

園長 大継 徹朗

皆様方のお祈りによつて2011年度を恵みのうちに終えることができましたことを心より感謝申し上げます。九州教区の祈りによつて大分東教会が誕生し、現在地に保育園が開園して45年になります。2012年度は園児数96名、職員数27名からのスタートとなりました。新入園児も与えられ、安定した環境の中で職員も日々の保育の業に動しんでおります。

昨年度の一時預かり事業においてもたくさん子どもたちが保育園に集い、地域における子育て支援にも貢献することができたと思えます。

今年度は4月より12名の新入園児が与えられ、職員一同、神様を信じ、隣り人を愛する気持ちを常に心に覚えながら保育園に集う子どもたちと保護者の方々のために力を尽くして参りたいと思つております。

これからも本園を覚えてお祈りお支えいただきましたら幸いです。



犀川のぞみ保育園 (犀川教会)

園長 池上 信也



昨年度は開設以来50年の長きにわたつて園長を務められた橋本高幸先生が引退され、不慣れな新参者が着任した危なっかしい1年を過ぎましたが、3月末には第50回卒園式にて7名の卒園児を送り

出し、4月からは新入園児6名を迎えて、保育園31名、児童クラブ(学童保育)24名でスタートしました。

昨年度は職員の産休・育休や退職が相次ぎ、その都度に保育士を確保することが難しい地方の現実を感じましたが、保育環境としてはすばらしい自然に恵まれた地域に建てられていますので、今年も神様の恵みの中で子どもたちが伸び伸びと大らかに育ち行くことを目指して励みたいと願っています。児童クラブは今年からみやこ町が4年生までの受け入れ方針を出しましたが、当園では体制が十分ではないため次年度から受け入れ拡大を考えています。小さな保育園を覚えてどうぞ祈り、お支えください。

グレース保育園 (中津教会)

園長 廣安慎太郎

3月20日第38回卒園礼拝がもたれ、24人の園児がグレース保育園を卒業しました。今年度は新入園児19人を迎え、新年度がスタートします。新年度の年主題は「あふれる愛」—小さき者ものとともに—(ヨハネの手紙一4章7節)と掲げました。

「愛されている」と感じる思いが、人を愛する気持ちを育てます。大切にされているという「心が満たされる経験」をした子どもは、新しく出会ったお友達を大切に思うことが出来るでしょう。

愛するということに真剣に取り組むと、その人は人間的にも成長します。人を愛することを、イエス様との交わりの中で体験し、愛の人として成長することを願っています。

「子どもを育て、教育する責任を負っている者は、人を愛する能力が十分に発達し成熟していなければならぬ」と、南信子先生(「輝くひとみをいつまでも」)が言われます。

私達職員も愛の源である神様の愛を知るために、聖書の学びを深めたいと思えます。どうぞ、よろしくお祈りします。

